

部長会議付議事案書（報告）

（令和4年8月23日）

提案課名 環境共生課

報告者名 谷 芳生

事案名	脱炭素先行地域について	<input checked="" type="checkbox"/> 資料 無
提案趣旨	<p>2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、民生部門の脱炭素を牽引するエリアを設定し、効果的に脱炭素を図ることで、市域全体への横展開を促進していくため、国が選定する「脱炭素先行地域」に応募するものです。</p> <p>そこで、応募に向けては、秦野市、秦野ガス(株)、東京ガス(株)、小田急電鉄(株)及び神奈川中央交通(株)と「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の活用に関する基本合意書」を本年7月20日に締結しました。</p> <p>については、本合意書に基づき、5者協議を重ね、脱炭素先行地域計画提案書を作成しましたので、その概要を報告するものです。</p>	
概要	<p>1 提案全体のタイトル</p> <p>(仮称)ゼロカーボンステーションからはじまる 新たなにぎわいとOMOTAN (表丹沢)の魅力づくり ～秦野発！地域密着型・サステナブルプロジェクト～</p> <p>2 脱炭素先行地域について</p> <p>資料のとおり</p>	
経過	<p>令和4年7月19日 5者で「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の活用に関する基本合意書」を締結することについて政策決定</p> <p>〃 7月20日 5者による基本合意書の締結</p> <p>〃 7月22日～8月16日 5者協議（計7回予定）</p> <p>〃 8月23日 令和4年度（第2回）地球温暖化対策推進本部の開催 計画提案書の報告（同日、本臨時部長会議に報告）</p>	
今後の進め方	<p>令和4年8月26日 関東地方環境事務所へ計画提案書を提出</p> <p>〃 (未定) 評価委員会によるヒアリング</p> <p>〃 秋 環境省による選定・公表</p> <p>令和5年度 ～12年度 計画提案書に定める個別事業に着手</p>	

「脱炭素先行地域」について

脱炭素先行地域とは、**2050年カーボンニュートラル**に向け、全国で**脱炭素ドミノ**を起こしていくための波及性の高いモデルケースとして、国が2025年までに少なくとも**100か所の選定**を目指している地域のこと。

現在2回目の公募期間であることから、その選考に応募するものです。

1 計画提案のタイトル

**(仮称)ゼロカーボンステーションからはじまる
新たなにぎわいとOMOTAN(表丹沢)の魅力づくり
～秦野発！地域密着型・サステナブルプロジェクト～**

2 脱炭素先行地域(対象エリア)の設定

- ・小田急線4駅周辺エリア
- ・表丹沢・観光エリア

(仮称)ゼロカーボンステーションからはじまる新たなにぎわいとOMOTAN(表丹沢)の魅力づくり
～秦野発！地域密着型・サステナブルプロジェクト～

➤ **小田急線4駅周辺エリア**

脱炭素を達成した駅「ゼロカーボンステーション」を起点として、街のにぎわいや人々の行動変容を喚起する。

【対象となる施設等】

駅舎（鶴巻温泉・東海大学前・秦野・渋沢、テナント）、駅前広場、駅前商店街 等

【脱炭素に資する主な取組】

太陽光発電及び蓄電池の設置（屋根置き・鉄道遊休地）、鉄道回生電力の活用、4駅間の電力融通、非化石証書付き電力への切替、MaaSや電子マネー等の検討・運用、啓発イベント等

➤ **表丹沢観光エリア**

山岳・里山アクティビティが充実する表丹沢の魅力に脱炭素を加えた「サステナブルツーリズム」の構築により、地域活性化を図る。

【対象となる施設等】

表丹沢拠点施設（9施設）、EVバス・タクシー・シェアリング（エリア間の移動等）、市営駐車場 等

【脱炭素に資する主な取組】

太陽光発電及び蓄電池の設置（屋根置き・調整池・駐車場・駐輪場のカーポート）・EV充電設備、非化石証書付き電力への切替、MaaSや電子マネー等の検討・運用、啓発イベント等

(仮称)ゼロカーボンステーションからはじまる新たなにぎわいとOMOTAN(表丹沢)の魅力づくり ～秦野発！地域密着型・サステナブルプロジェクト～

➤ 事業規模

【総事業費】

R 5 (2023) ～ R 1 2 (2030) : 約 1 0 億円

【市関連事業費】

R 5 (2023) ～ R 1 2 (2030) : 約 5 億円 (交付率内訳 : 1 / 3 市単 ・ 2 / 3 交付金)

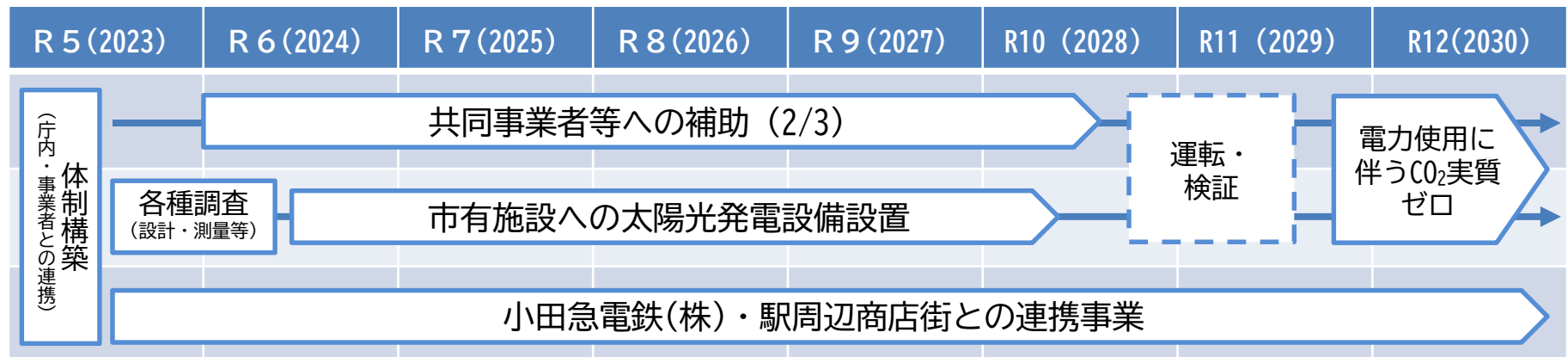
【対象地域内で発電される再生可能エネルギー電力の供給量】

1, 5 6 1, 0 0 0 kWh/年

【二酸化炭素削減量】

6 8 8, 4 0 1 kg-CO₂/年 (市内民生業務部門排出量の「0.48%」)

➤ 事業実施スケジュール



(仮称)ゼロカーボンステーションからはじまる新たなにぎわいとOMOTAN(表丹沢)の魅力づくり
 ~秦野発！地域密着型・サステナブルプロジェクト~

駅の脱炭素(ゼロカーボンステーション)がにぎわいを呼び込み、サステナブルツーリズムによって、表丹沢の魅力・体験が磨き上がる

EV充電設備の利用やボランティア活動などによって貯まるカーボンニュートラルCNポイントが地域を循環

